

4つの重点分野で 飛躍するアフリカに貢献

— for the future children of Africa

豊田通商アフリカ本部新規事業開発COO・アフリカ極CEO補佐

グローバルビジョン 「Be the Right ONE」

豊田通商グループは、このグローバルビジョンを掲げ、お客さま・事業パートナーにとって代替不可能な唯一無二の存在になることを追求し、その実現を目指している。このビジョンのもと、アフリカビジネスに従事する2万2000人の当社グループ社員が一丸となり、「WITH AFRICA FOR AFRICA」を理念とし、事業運営や人材育成を通じてアフリカの自立的発展に貢献したいと考えている。当社のアフリカ事業は、100年前に東部アフリカにおける綿花の輸入に始まり、60年代から自動車輸出販売を開始するなど、早くからアフリカの市場に注目してきた。そして、2012年に、アフリカで170年にわたる

ビジネスの歴史を持つフランス商社CFAOに資本参画し、2016年に完全子会社化した。アフリカ東・南部に事業基盤を持つ当社と、アフリカ中・西部で事業展開するCFAOの統合により、「ONE Team」としてアフリカ全54カ国で事業を展開している。モビリティ、ヘルスケア、消費財、電力・インフラ・テクノロジの4つの事業分野で、今では売上1兆円を超えるビジネスを行うまでに成長している。

4つの重点分野に注力

2022年8月にチュニジアで開催された第8回アフリカ開発会議(TICAD)にて、当社は「For the future children of Africa」という旗印のもと、産業変革、グリーンエコノミー、グローバルヘルス、人材開発の4つの重点分野に注力していくことを表明した。

木村和昌

きむら かずまさ



産業変革 — 活力あるアフリカの 未来創造に貢献

当社は、トレーディングを中心とした川中の事業に加えて、アフリカで地産地消の促進を目指し、川上(生産)と川下(小売)の分野にも事業拡大し、バリューチェーン統合の推進を基本戦略としている。

川上の生産事業として、自動車のノックダウン組み立て、医薬品のライセンス生産の他、液体石炭や飲料など、消費財の生産に取り組んでいる。

川下の小売事業として、フランスカルフル社(大手スーパーマーケットチェーン)と提携し、西アフリカ3カ国(コートジボワール、カメルーン、セネガル)でショッピングモー

図表 豊田通商のアフリカ事業における理念体系

『for the future children of Africa』

WITH AFRICA FOR AFRICA

産業変革

グリーンエコノミー

グローバルヘルス

人財開発

世界での事業拠点において2050年にカーボンニュートラル(CN)の実現を目標としている。アフリカの事業拠点においても、太陽光発電における自家消費電力の再エネ化、省エネ設備の導入を積極

的に推進しており、また、ハイブリッド車など環境に優しいクルマの普及も促進している。将来を見据え、再生可能エネルギーで社会課題を解決し、アフリカにおけるCNへの貢献と産業促進を加速していく。

一方、アフリカの物流事情に着眼し、米国スタートアップのジップライン社に出資し、独自の飛行機型ドローンを使って、ワクチンや医薬品を迅速かつ安全に届ける事業も展開している。また、ランドクルーザーに冷蔵装置を搭載したワクチン用保冷輸送車を開発し、世界で初めてWHOの認証を取得した。たとえ道なき道であっても、ワクチンを安全・確実に届ける。

アフリカの誰もが、どこでも受けられるヘルスケアサービスを確立することが、当社の使命である。

当社は、事業を拡大する中で、トヨタグループのDNAでもある安全第一、5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)、カイゼン文化を、155社に及ぶアフリカ全事業体に導入してきた。また、自動車修理エンジニアを育成するためのトヨタアカデミーをケニア、アンゴラで開設している。特にケニアでは、地域社会の皆さんにも門戸を開いて、自動車のみならず、建設機械や農業機械の技術実習や、将来のリーダー育成プログラムなども提供している。

さらに、アフリカ発のスタートアップに出資し、有望な起業家とシナジーを創出し、世界のビジネスステージで活躍する人財を積極的に支援している。

アフリカの人や社会と共に成長

当社グループは170年にわたるアフリカ事業の知見、様々なバックグラウンドの仲間によるダイバーシティ組織、日仏アフリカの有力企業とのパートナーシップ、そしてスタートアップとの相互補完などを強みとする。今後も事業の幅を広げ、深みを増し、アフリカの内発的・持続的発展に貢献していく。豊田通商は、強い意志と情熱を持って、アフリカの人々と共に成長し続ける。アフリカの未来の子どもたちのために。

生活の向上や産業化のために電力は不可欠である。アフリカ各国において電力にアクセスできる国民の割合は、概して50%を割り込んでおり、10%程度と非常に低い国さえある。当社は、アフリカにおける電力供給事情を改善し、それを再生可能エネルギーで実現させたいと考えている。ケニアでは2012年から地熱発電事業、エジプトでは当社グループ会社であるユーラスエナジーホールディングスと共に、2019年から風力発電事業を展開している。

持続可能な社会の実現に貢献

グリーンエコノミー —よりグリーンな経済成長で、

ルやスーパーマーケットを運営し、拡大する中間層に適した商品を届け、1500人以上の現地雇用を創出している。アフリカの人々のニーズに寄り添い、活力向上と地域産業の発展に貢献していく。

グローバルヘルス —アフリカに健康と笑顔を届ける

当社のヘルスケア事業は、医薬品の卸売事業から始まり、現在22カ国で3万1000種の医薬品を8600の薬局や病院に届けている。また、モロッコとアルジェリアで、医薬品のライセンス生産にも取り組んでいる。さらに、より多くの人に、信頼性のある医薬品を届けたいという想いから、東アフリカの大手薬局チェーン・グッドライフ社に出資している。これにより、医薬品の現地生産・卸売・小売まで一貫したバリューチェーンの構築を実現した。今後も医薬品の小売事業を強化していく。

人財開発

—未来を担う子どもたちの可能性を最大限に引き出す

当社は、事業を拡大する中で、トヨタグループのDNAでもある安全第一、5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰)、カイゼン文化を、155社に及ぶアフリカ全事業体に導入してきた。また、自動車修理エンジニアを育成するためのトヨタアカデミーをケニア、アンゴラで開設している。特にケニアでは、地域社会の皆さんにも門戸を開いて、自動車のみならず、建設機械や農業機械の技術実習や、将来のリーダー育成プログラムなども提供している。